

# 奈良公園バスターミナルにて「土砂災害パネル展～ 土砂災害から身を守るために～」を開催しました

奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課

○今年度3回目となる、土砂災害に関するパネル展を奈良公園バスターミナルにて国土交通省 紀伊山系砂防事務所と共催しました。奈良公園バスターミナルでの本パネル展の開催は初めてです。

日時：令和3年7月1日(木)～7月15日(木) 奈良公園バスターミナル(常設展示)

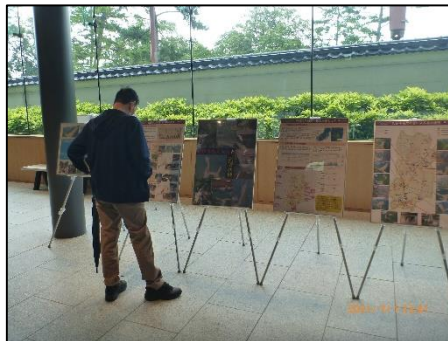
○平成23年9月に発生し、今年で発生から10年となる紀伊半島大水害の記録や、国・県による復興へ向けた事業について紹介しました。また、これまで奈良県で発生した災害の歴史や、気象予測による災害防止に向けた取り組みについても紹介しました。展示したパネルの総数は35枚となり、今年度実施したパネル展の中では最大となりました。

## 【パネル展示の様子】

【上段左：パネル展全景】



【上段中：パネルを見る来場者】



【上段右：紀伊山系砂防事務所のパネル】



【下段左：奈良警察署のパネル】



【下段中：奈良地方気象台のパネル】



【下段右：奈良県防災統括室の  
「奈良の災害史」パネル】



○今回のパネル展では、奈良県砂防・災害対策課や紀伊山系砂防事務所の展示の他に、奈良警察署・奈良地方気象台からパネルやチラシをご提供いただきました。また、奈良県防災統括室とも連携し、奈良県で起こった災害の歴史を紹介するパネルも展示しました。

○奈良公園バスターミナルにて実施したことによって、地元の方だけではなく、観光バスで来場した学生などバスターミナルの利用者にも展示を見ていただくことができました。

○県南部に甚大な被害をもたらした紀伊半島大水害から、今年の9月で10年となります。紀伊半島大水害を風化させず、災害の記憶を将来へ伝えていくためにも、県ではパネル展や出前講座といった様々な啓発活動に取り組んでいきます。